

(別紙5)

補助事業番号 26-2-111

補助事業名 平成26年度 福祉機器の整備 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人 独歩

1 補助事業の概要

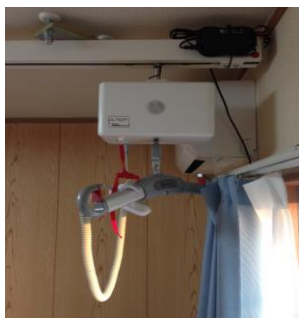
(1) 事業の目的

身体障害者用ケアホームにリフト（天井走行式及び床走行式）を導入し、移乗の際の安全を確保すると共に介護職員の腰痛防止を行う。

(2) 実施内容

天井走行式リフト (URL)<http://www.doppo.or.jp/gtheadline.html>

当法人のケアホームにある2つの浴室にそれぞれ1台ずつと洋室2部屋にそれぞれ1台ずつで合計4台天井走行式リフトを設置する。また、床走行式リフトも1台設置。



2部屋の洋室について
天井走行式リフト



床走行式リフト



2つの浴室について
天井走行式リフト

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

浴室や居室内で重度の障害者の方が安全に移乗することが継続してできるということが最大の効果である。また、職員の腰痛や介護疲れを防止し、安定的に介護サービスを提供できるという事も予想される効果と言える。

たとえば、ケアホームの利用者が一人暮らしなどで退去することになったとしても、さいたま市で初となる身体障害者用ケアホームとして、安全に介護することができるハード面を持っているという事は地域の身体障害者にとって利益であるし、また当法人に倣い今後現われるであろう身体障害者用ケアホームを作る方々に指針となれると考えられる。

3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

(URL) <http://www.doppo.or.jp/gheadline.html>

Number. 5 普段の介助に強い味方 天井走行型リフター ～設備編～

毎日の入居者のケアは、スタッフのマンパワーがメインです。
ただ、ベットへの移動や入浴の場面などでは、やはりパワーが必要となってきます。

そんな時、ケアホームには入居者を安全かつ安心してスムーズにケアするための機器がスタンバイしているのです。

そのひとつが『天井走行型リフター』。

公益財団法人 JKA が行う補助事業「[RING! RING! プロジェクト](#)」の支援を利用して導入しました。

リフターは、天井に設置されたレールに沿って介助者を少ない力で移動させてくれます。設置場所は、浴室（2ヶ所）、1階の部屋、ショートステイの部屋と全部で4ヶ所あります。

入居者はもちろん、女性スタッフの介助も楽にしてくれる頼もしい機器なのです。

(別紙5)



洗い場と浴槽の移動用に設置されたリフト



写真左：リフトの上下作動するための駆動部分 写真右：1階居室に設置されたリフト



ショートステイの部屋に設置されたリフト。ベットと車いすの間の移動に使います

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 独歩 (シャカイフクシハウジン ドッポ)

住 所： 〒331-0074

埼玉県さいたま市西区宝来382番1

代 表 者： 理事長 串田 由幸 (クシダ ヨシユキ)

担 当 部 署： ドッポケアホーム宝来 (ドッポケアホームハウライ)

担 当 者 名： 管理者 串田 哲也 (クシダ テツヤ)

電 話 番 号： 048-620-2020

F A X： 048-620-2022

E - m a i l： t.kushida@doppoclub.jp

U R L： <http://www.doppo.or.jp/>